

運動部活動に所属する生徒の皆さんへ

同じ志をもつ仲間と共にスポーツに取り組むことを通じて、日々心と体を鍛え、目標に向かって努力を重ねてきた運動部活動に所属する生徒の皆さんにとって、2月中旬からの新型コロナウイルスの感染拡大は想定外の出来事であり、学校の臨時休業や部活動の制限など、皆さんの日常生活にも大きな影響を与えていることと思います。

そのような状況の中、日本中体連は今年の夏の全国中学校体育大会の中止を決定しました。それを受けて、北海道中体連も夏の全道大会を中止し、管内大会や地区大会も中止するようお願いしました。いつどこでクラスター感染が起きるか分からない状況の中、中体連の大会を行うことは難しく、生徒の皆さんはもちろん、大会に関わる多くの方々の健康と安全、そしてかけがえのない生命を守ることを第一に考えた上での判断です。

中体連大会を目標として練習に励み、努力を重ねてきた皆さんにとって、大会の中止は、つらく、悔しく、悲しい知らせと思います。しかし、スポーツの本当の楽しさや喜びは、大会での勝敗や記録・表現の良し悪しなどの結果だけではありません。そこに至るまでの過程における様々な成功や失敗の経験、そして、スポーツの喜びを共に分かち合い、感動を共有してきた様々な人と人とのつながりこそがスポーツの素晴らしさと言えるのではないのでしょうか。

一人では乗り越えるのが難しい困難も、道内約 600 の中学校で運動部活動に励む7万人余りの仲間となら一緒に乗り越えることができます。北海道のスポーツを愛する中学生全員の力を合わせて、新型コロナウイルスの感染を終息させるために、3密を避けること、手洗いや咳エチケットの徹底など今、自分にできることにしっかり取り組んでください。

次のステージにおいて、多くの仲間と共にスポーツの楽しさや喜びを味わえるようになることを心から楽しみにしています。

令和2年（2020年）5月

北海道中学校体育連盟 会長 中山 明彦

（札幌市立月寒中学校長）

運動部活動に所属する生徒の保護者の皆様
運動部活動の顧問・指導者の皆様

生徒たちの運動部活動をいつも温かく応援していただいている保護者の皆様、日々熱意をもって運動部活動の指導に当たっていただいている顧問・指導者の皆様に改めて敬意を表するとともに、本連盟の活動に御理解と御協力をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各種スポーツイベントの開催の可否が問われる中、4月28日付けで（公財）日本中学校体育連盟から令和2年度の全国中学校体育大会（夏季大会）を中止するとの通知がありました。

北海道中学校体育連盟においては4月当初より様々なケースを想定しながら全道大会等の開催について検討を重ねてきましたが、このたびの全国大会の中止を受け、参加する生徒たちや大会に関わる方々の健康と安全を第一に考え、令和2年度の全道大会（夏季全種目）を中止することを決定するとともに、各地区中体連に対しては管内大会・地区大会（夏季全種目）の中止を要請することとしました。

中体連大会を目指して練習に励んできた生徒たちにとって、大会の中止は、つらく、悔しく、悲しい知らせと思いますが、4月中旬に北海道は特定警戒都道府県として指定され、いつどこで感染が起きるか分からない状況の中、中体連大会を開催することはできないと判断いたしました。

保護者、顧問・指導者の皆様におかれましては、何よりも部活動に一生懸命に取り組んできた生徒たちに寄り添い、生徒たちの思いに耳を傾けながら、スポーツの楽しさや喜びは一つの大会、中学生という年代で完結するものではなく未来に向かって継続していくものであることを伝え、次の自分自身の目標を定めながら前向きで活力ある中学校生活を送ることができるよう一層の御指導と御支援をお願いいたします。

本連盟としましても、今回の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う全道大会等の中止という前例のない事態を契機として、新たな視点をもって当面する運動部活動の様々な課題の解決に向けて努力していく所存でありますので、今後とも運動部活動を支えていただいている保護者、顧問・指導者の皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

令和2年（2020年）5月

北海道中学校体育連盟 会長 中山 明彦

（札幌市立月寒中学校長）